

サウジアラビアにおける「電力省エネルギーマスタープラン」策定の概要

1. 名 称：サウジアラビア国電力省エネルギーマスタープラン調査
2. 期 間：平成19年2月～平成20年8月
3. 対象範囲：サウジアラビア国全土
4. 内 容：
 - (1) 現状調査
 - ◇ 社会経済状況
 - ◇ エネルギー消費・需要動向
 - ◇ 過去の省エネルギープログラム
 - ◇ 電源設備と電源計画
 - ◇ 産業・商業・住宅セクターの省エネ実施度調査など
 - (2) 電力省エネルギーマスタープランの策定
 - ◇ 電源計画のレビュー、過去の省エネプログラムのレビュー
 - ◇ 2030年までの需要想定
 - ◇ 省エネ政策・制度の提言
 - ◇ 省エネ目標・基本方針策定
 - ◇ 省エネ方策の提案
 - ◇ 省エネ分析・評価
 - (3) アクションプランの策定
 - ◇ 法制度、ガイドライン等の整備支援
 - ◇ 省エネセンター設立支援
 - ◇ アクションプランの策定
 - ◇ セミナー・ワークショップの開催
5. 調査費用：約1億6千万円
6. サウジアラビアでの協力相手先：

「ステアリングコミッティー」^(注)と協議しながらマスタープランを策定していく予定。

(注)「ステアリングコミッティー」:

省エネルギーに関する意見集約を目的に、水・電力省 (Ministry of Water and Electricity)、財務省、経済企画省、自治地方省、王立科学技術研究所、サウジアラビア大学、サウジアラムコ、サウジアラビア電力会社、海外淡水化公社などのメンバーから、平成19年3月に構成された委員会